

秋田赤十字乳児院

広報誌 第55号

理 念

私たちは、赤十字精神のもとに、子どもたちの権利擁護と最善の利益を守り、心身ともに健やかな成長を図ることのできる愛情のこもった養育環境を提供します。

よちよち ちゃん



令和元年度は、**7**名の子どもが里親家庭に迎え入れられました。



里親支援専門相談員 京極 芳久

秋田赤十字乳児院では、保護者と子どもが一緒に生活することを優先的に考えながら、家庭支援を行っています。家庭引き取りが困難な場合には、子どもたちの最善の利益のため、里親支援に取り組んでおります。

令和元年度里親支援では、**7名**の子どもたちを里親家庭に繋ぐことができました。

【里親 Bさん】

今回は、この「かぞく」となった 7名のうち、月令6カ月のAちゃんを受託したAさん夫妻を紹介します。Bさんは、里親登録後、平成30年度里親トレーニングを受講され、修了後も、定期的に乳児院にボランティアに通っていただきました。子どもたちの衣類整理や環境整備を終えてから、子どもたちのいるクラスに入ります。乳児がいるクラスでは、優しいまなざしで、子どもたちにミルクを飲ませたり、抱っこして寝かしつけたりして、子どもたちと関わる時間を重ねながら、児童相談所からの連絡を待ち続けました。

【嬉しい知らせ】

児童相談所担当者から、里親候補者が決定したと連絡を受け、乳児院でマッチングが行われることになりました。

その頃Aちゃんは、離乳食開始を検討する時期でした。初めての離乳食は、未来のパパ・ママに食べさせてほしいとの想いから、Bさん夫妻が面会に来る日に合わせて離乳食を開始しました。Bさんは緊張のため手が震え、恐るおそるスプーンをAちゃんの口に運び、「ごっくんだよ！おいしいねー！」と声を掛けながら、離乳食を食べさせてくださいました。その後も、面会交流を重ね、月令に合わせた遊び方や調乳、離乳食の作り方、入浴、スキンケアなどひと通り体験して、いよいよ外泊の日を迎えました。

【初めての外泊】

帰院後、Bさんは、「子どものことが気になり夜間一睡もできなかった…」と眠そうでしたが、「Aちゃんがうちにいるなんて幸せだな」と終始笑顔でした。外泊を繰り返し、困った時は当院に電話を掛けて相談しながら、自宅で過ごし、Aちゃんの退所の日を迎えました。

見送りのため玄関に集まった子どもたちと職員を前に、Aちゃんをしっかりと胸に抱いたAさん夫妻の瞳には、Aちゃんと家族になるという自信と覚悟の光がひとすじ見えました。



今年度里親家庭を訪問させていただき、子どもたちの笑顔と親子の絆が深まっていく過程を支援してまいりました。「縁」で結ばれ、それぞれの“かぞく”になっていく親子をこれからも全力で支えていこうと気を引き締めております。

(※写真と内容は関係していません)

ひよこ組

一人歩きが出来るようになってきたひよこ組さん。靴を履いて外を歩いたり雪に触れてみたり、そりにも乗りました。全てが初めての体験！！冬を感じながらも冷たい風に負けずに過ごしています。

(石川 (智))



キラキラ、ふわふわ、キレイだな～！

ぱんだ組

令和2年ぱんだ組は、風邪もひかず、みんな元気にスタートしました。雪が少なくてちょっぴり残念だけど、節分に向けて体力をアップ！お部屋の中で体をたくさん動かして遊んでいます。

さてと、「何の鬼」をやっつけるのかな??

(鈴木 (亜))



たくさん福を呼んじゃうぞ♪



保育室ダイアリー



ぼんび組

「雪で遊びたいなあ…」と何度院庭の地面を見つめたことでしょう。ようやく積もった雪に子どもたちは大はしゃぎ！ふわふわの雪の上で「きもち～」と寝転がってみたり、お山からソリで滑ってみたりと存分に楽しんでいます。たくさん遊べて良かったね！（保坂）



雪の上に思いっきりダ～イブ！！

ことり組

暖冬となった今年。やっと降り積もった貴重な雪の上に寝ころんだり、ソリで滑ったりして遊びました。寒さなんかへっちゃら。「いっしょにあそぼ～！」「いいよ～」と楽しさ倍増、連帯感ばっちりのことり組さんです。（高橋）



ほくたち なかよし ことり組♡

善意寄付



たくさんいただいた善意寄付金で子どもたちの晴れ着を新調させていただきました。



かわいいお着物のほかに、
素敵なドレスも購入させていただきました。



ありがとうございました。

編集後記 ～スタッフから一言～

新型コロナウイルス、君は一体何者なんだい？突如現れ、当たり前になっていたことができない世の中にしてしまったね。

4月から乳児院では院外保育が始まるんだよ。だけど、いつもお世話になっている施設は休館中。子どもたちの楽しみまで奪っていくつもりか。お花見には行かせてくれよ。院外保育での普段とは違う子どもたちの姿、喜ぶ顔が職員一同とても楽しみなんだよ。

コロナウイルスよ、頼むから早く収束してくれ。

(高杉)

■編集・発行 秋田赤十字乳児院
〒010-0041 秋田市広面字釣瓶町 100-3
TEL018-884-1760 FAX 018-884-1762
電話相談 018-884-1761 (8:30~23:00)